

養成講習 認定審査基準（案）

範囲	含まれるべき内容	含まれるべき内容の詳細
キャリアコンサルティングの社会的意義		
一 社会及び経済の動向並びにキャリア形成支援の必要性の理解	自律的・主体的なキャリア形成に対する支援の必要性	・自律的・主体的なキャリア形成の重要性及びその高まりの背景 ・自律的・主体的なキャリア形成に対する支援の必要性及びその高まりの背景 ・キャリアコンサルタントの活動領域の多様化の背景
二 キャリアコンサルティングの役割の理解	キャリアコンサルティングの役割	・キャリア形成支援におけるキャリアコンサルティングの意義及び役割 ・キャリア形成及びキャリアコンサルティングに関する教育・普及活動の意義 ・組織・環境への働きかけの意義
キャリアコンサルティングを行うために必要な知識		
一 キャリアに関する理論	キャリアに関する代表的な理論の概要	・キャリア発達理論 ・職業指導理論 ・職業選択理論 ・ライフステージ及び発達課題の知識 ・人生の転機における支援の知識
二 カウンセリングに関する理論	カウンセリングの理論及びスキルの役割	・カウンセリングの理論及びスキルがキャリアコンサルティングの過程において果たす役割
	カウンセリングに関する代表的な理論の概要	・来談者中心アプローチ ・認知行動アプローチ
三 職業能力開発の知識	職業能力開発に関する知識	・職業能力開発の手法 ・事業内職業能力開発計画の作成方法
	職業能力開発に対する支援制度に関する知識	・職業能力開発促進法の概要 ・職業能力開発に対する支援制度 ・ジョブ・カード制度 ・職業能力開発に対する支援制度に関する情報の入手方法
	リカレント教育に関する知識	・リカレント教育による学び直しの必要性 ・リカレント教育に関する支援施策
四 職業の知識	職業に関する知識・情報	・職業分類の概要 ・主な職業の業務内容、必要な知識・技能・資格及びキャリアパス ・主な職業の労働条件及び労働需要の将来予測も含めた動向 ・職業に関する情報の入手方法
五 労働市場の知識	雇用・労働市場に関する知識・情報	・雇用・労働市場の動向及び変化の背景 ・雇用・労働市場に関する主な調査及び指標の概要 ・雇用・労働市場に関する情報の入手方法
	産業・業種に関する知識・情報	・産業分類及び主な産業の概要 ・主な産業・業種の労働需要の将来予測も含めた動向 ・主な業種の労働条件の概要

六 労働政策及び労働関係法令並びに社会保障制度の知識	労働政策及び労働関係法令に関する知識	・労働政策及び労働関係法令の概要 ・労働政策の動向
	社会保障制度に関する知識	・社会保障制度の概要 ・社会保障制度の動向
七 人事労務管理の知識	人事労務管理施策・制度に関する知識	・人事労務管理施策・制度の概要及び動向・課題 ・企業内のキャリア形成に係る支援制度
	労働者の属性・雇用形態に応じた課題	・労働者の属性や雇用形態に応じた共通課題と対応の視点・手法
八 メンタルヘルスの知識	メンタルヘルスに関する知識	・ストレスに関する代表的な理論 ・職場のストレス要因及び対処方法の概要 ・代表的な精神的疾患の特徴的な症状及び特別な配慮の必要性並びに関係機関との連携の重要性
	職場におけるメンタルヘルス対策に関する知識	・職場におけるメンタルヘルス対策の意義 ・メンタルヘルスに関する法令・制度及び指針
九 個人の多様な背景・特性の知識	個人の背景・特性に応じた支援に関する知識	・個人の多様な背景・特性に関する知識 ・背景・特性ごとの課題の見立ての着目点及び支援に当たっての留意点
十 各活動領域におけるキャリア形成支援の知識	企業等におけるキャリア形成支援の概要	・企業等におけるキャリア形成支援施策の概要 ・セルフ・キャリアドック ・職場における学び・学び直し促進ガイドライン ・職業能力の評価に関する制度 ・人事部門との協業の必要性
	需給調整機関におけるキャリア形成支援の概要	・労働市場や職業の情報を踏まえた職業選択の支援 ・求職者・求人者に対する助言 ・他の就労支援機関と連携した支援
	教育機関におけるキャリア形成支援の概要	・学校教育制度 ・キャリア教育 ・就職支援・インターンシップ ・リカレント教育
	各種支援機関におけるキャリア形成支援の概要	・相談者に関する情報の収集、課題の見立て及び支援の方向性の提案 ・関係機関と連携した支援 ・支援プログラムの企画・運営
キャリアコンサルティングを行うための基本的な技能		
一 カウンセリングの技能	カウンセリングの進め方	・相談者との関係構築の方法 ・相談者の課題の把握及び相談者との共有の方法 ・積極的関わり技法の適切な展開の方法
二 グループアプローチの技能	グループを活用したキャリアコンサルティング	・グループを活用したキャリアコンサルティングの意義及び有効性 ・グループを活用したキャリアコンサルティングの進め方及び留意点
三 組織・環境への働きかけの技能	組織・環境への働きかけの必要性及び働きかけの方法	・組織・環境への働きかけの必要性 ・組織・環境への働きかけを行う方法の概要及び留意点

四 ネットワーク形成の技能	ネットワークの重要性の認識及び形成	・ 専門機関・専門家及び他領域のキャリアコンサルタントとのネットワークの重要性 ・ ネットワークの形成及び連携した支援の方法
五 専門機関への紹介及び専門家への照会の技能	専門機関への紹介及び専門家への照会	・ 専門機関への紹介及び専門家への照会の必要性 ・ 専門機関への紹介及び専門家への照会の一般的な方法及び留意点
六 相談過程全体の進行の管理に関する技能	相談過程全体の進行管理の方法	・ 相談過程のどの段階にいるかの把握の方法 ・ 各段階に応じた支援方法の選択の方法
七 その他の基本的な技能	キャリアシート（ジョブ・カードを含む）の作成指導及び活用	・ キャリアシートの意義 ・ キャリアシートの作成指導の方法
	A I等のデジタルツールを活用したキャリアコンサルティング	・ A I等のデジタルツールの活用方法 ・ A I等のデジタルツールの活用にあたっての留意点
	オンラインによるキャリアコンサルティング	・ オンラインによるキャリアコンサルティングの実施方法及び留意点
キャリアコンサルティングの相談過程において必要な技能		
一 相談場面の設定	物理的環境の設定	・ 物理的環境の設定にあたっての留意点
	心理的な親和関係（ラポール）の形成	・ 心理的な親和関係の形成の方法
	キャリア形成及びキャリアコンサルティングに係る理解の促進	・ 自律的・主体的なキャリア形成の必要性の理解の促進の方法 ・ キャリアコンサルティングの目的の理解の促進の方法
	相談の目標、範囲等の明確化	・ 相談者の相談内容、抱える問題、置かれた状況の把握・整理の方法 ・ 相談の到達目標、相談を行う範囲、相談の緊要度等についての相談者との合意の方法
二 自己理解の支援	自己理解への支援	・ 相談者の自己理解の促進に向けた支援の方法
	アセスメント・スキル	・ 代表的なアセスメントの概要及び実施上の留意点 ・ 相談者に応じた適切なアセスメントの選択及び実施の方法 ・ アセスメント結果についての相談者の理解促進に向けた支援の方法
三 仕事の理解の支援	仕事理解への支援	・ 相談者の仕事理解の促進に向けた支援の方法
	職業・産業・労働市場に関する情報の提供並びに収集・検索・活用方法についての助言	・ 職業・産業・労働市場に関する情報の適切な提供の方法 ・ 職業・産業・労働市場に関する情報の収集・検索・活用方法についての助言の方法
四 啓発的経験の支援	啓発的経験に関する支援	・ 職業体験の意義・目的の理解促進及び実行支援の方法 ・ 職業体験を啓発的な経験とするための支援の方法
五 意思決定の支援	キャリアプランの作成支援	・ キャリアプランの作成支援の方法
	具体的な目標設定への支援	・ キャリアプランをもとにした目標の設定及び環境変化等に応じた目標の修正への支援の方法

	能力開発に関する支援	・相談者の目標の達成に必要な能力開発に関する情報の提供の方法 ・能力開発に向けた計画の作成及びその継続的見直しへの支援の方法
六 方策の実行の支援	相談者に対する動機づけ	・方策の目標・意義の理解促進の方法 ・動機づけ支援及び伴走支援の方法
	方策の実行のマネジメント	・方策の進捗状況の把握の方法 ・方策の進捗状況についての相談者の理解促進の方法 ・方策の進め方や見直し等についての助言の方法
七 新たな仕事への適応の支援	方策の実行後のフォローアップ	・相談者の状況に応じた適切なフォローアップの方法
八 相談過程の総括	適正な時期における相談の終了	・キャリアコンサルティングの終了の判断の方法 ・キャリアコンサルティングの終了にあたっての留意点
	相談過程の評価	・相談者自身による目標の達成度や能力の発揮度についての自己評価の支援の方法 ・キャリアコンサルタント自身の相談支援の過程と結果についての自己評価の方法
キャリアコンサルタントの倫理と行動		
一 キャリア形成及びキャリアコンサルティングに関する教育並びに普及活動	キャリア形成及びキャリアコンサルティングの普及	・キャリア形成及びキャリアコンサルティングの効果に関するデータ及び事例 ・キャリア形成に関する研修プログラムの企画・運営方法の概要
二 自己研鑽及びキャリアコンサルティングに関する指導を受ける必要性の認識	自己研鑽	・自己研鑽の意義及び必要性 ・自己研鑽の一般的な方法
	スーパービジョン	・スーパービジョンの意義及び必要性 ・逐語録等の相談記録の整理の方法
三 キャリアコンサルタントとしての倫理と姿勢	活動範囲の限界と連携の必要性の理解	・キャリアコンサルタントの活動範囲 ・活動範囲や自身の力量の限界を超えてキャリアコンサルティングが行われた場合の弊害 ・連携した支援の必要性の理解
	守秘義務の遵守	・守秘義務に係る法律上の規定 ・相談者との信頼関係の構築における守秘義務の遵守の重要性
	倫理規定の厳守	・信用失墜行為の禁止に係る法律上の規定 ・キャリアコンサルタントが守るべき倫理
	キャリアコンサルタントとしての姿勢	・個人の人生に関わる役割及び責任 ・キャリア形成支援者として自らのキャリア形成に必要な能力開発を行うことの必要性

更新講習 指定審査基準（案）

区分	科目	含まれるべき内容	
一 必修講習（知識）	一 職業能力開発の知識	職業能力開発に関する知識	
		職業能力開発に対する支援制度に関する知識	
		リカレント教育に関する知識	
	二 職業の知識	職業に関する知識・情報	
	三 労働市場の知識	雇用・労働市場に関する知識・情報	
		産業・業種に関する知識・情報	
	四 労働政策及び労働関係法令並びに 社会保障制度の知識	労働政策及び労働関係法令に関する知識	
		社会保障制度に関する知識	
	五 人事労務管理の知識	人事労務管理施策・制度に関する知識	
		労働者の属性・雇用形態に応じた課題	
	六 メンタルヘルスの知識	メンタルヘルスに関する知識	
		職場におけるメンタルヘルス対策に関する知識	
	七 個人の多様な背景・特性の知識	個人の背景・特性に応じた支援に関する知識	
	八 各活動領域におけるキャリア形成 支援の知識	企業等におけるキャリア形成支援の概要	
需給調整機関におけるキャリア形成支援の概要			
教育機関におけるキャリア形成支援の概要			
各種支援機関におけるキャリア形成支援の概要			
二 必修講習（技能）	一 キャリアコンサルティングを行う ための基本的な技能		
		1 キャリアコンサルタントと しての倫理と姿勢	活動範囲の限界と連携の必要性の理解
			守秘義務の遵守
			倫理規定の厳守
			キャリアコンサルタントとしての姿勢
		2 カウンセリングの技能	カウンセリングの進め方
		3 グループアプローチの技能	グループを活用したキャリアコンサルティング
		4 組織・環境への働きかけの技能	組織・環境への働きかけの必要性及び働きかけ の方法
		5 ネットワーク形成の技能	ネットワークの重要性の認識及び形成
		6 専門機関への紹介及び専門家 への照会の技能	専門機関への紹介及び専門家への照会
		7 相談過程全体の進行の管理に 関する技能	相談過程全体の進行管理の方法
		8 その他の基本的な技能	キャリアシート（ジョブ・カードを含む）の作成 指導及び活用
			A I 等のデジタルツールを活用したキャリアコ ンサルティング
	オンラインによるキャリアコンサルティング		

	二 キャリアコンサルティングの相談 過程において必要な技能	
	1 相談場面の設定	物理的環境の設定
		心理的な親和関係（ラポール）の形成
		キャリア形成及びキャリアコンサルティングに係る理解の促進
		相談の目標、範囲等の明確化
	2 自己理解の支援	自己理解への支援
		アセスメント・スキル
	3 仕事の理解の支援	仕事理解への支援
		職業・産業・労働市場に関する情報の提供並びに 収集・検索・活用方法についての助言
	4 啓発的経験の支援	啓発的経験に関する支援
	5 意思決定の支援	キャリアプランの作成支援
		具体的な目標設定への支援
		能力開発に関する支援
	6 方策の実行の支援	相談者に対する動機づけ
		方策の実行のマネジメント
	7 新たな仕事への適応の支援	方策の実行後のフォローアップ
	8 相談過程の総括	適正な時期における相談の終了
		相談過程の評価